

2023年10月30日

各位

会社名 株式会社 ベルーナ
代表者名 代表取締役社長 安野 清
(コード番号 9997 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 安野 雄一朗
(TEL. 048-771-7753)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	219,000	14,000	14,700	9,400	97.22
今回発表予想(B)	208,500	10,000	11,000	7,000	72.39
増減額(B-A)	△10,500	△4,000	△3,700	△2,400	-
増減率(%)	△4.8	△28.6	△25.2	△25.5	-
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	212,376	11,217	12,459	7,417	76.71

2. 修正の理由

2024年3月期連結業績予想につきまして、下記理由等により売上高、営業利益が当初予想を大きく下回る見通しとなりました。また、営業利益が当初予想を下回ったことに伴い、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても当初予想を下回る見通しとなりました。

(主な修正理由)

・アパレル・雑貨事業において、円安の影響、原材料や資材価格の高騰を受け仕入原価が上昇したことで、商品の値上を行ったため受注単価は上昇したものの既存顧客のレスポンスが鈍化傾向となりました。また、紙代及び印刷代等の販促関連の経費が増加するなか、利益を優先するために紙媒体の発行量を抑制したことで新規顧客の獲得数が減少し、稼働顧客数が減少しました。この影響による当初予想との差異は売上高△4,878百万円、営業利益△2,685百万円となる見込みです。

なお、足下では価格戦略の見直しに着手しており、レスポンスは回復の兆しが出てきております。

・プロパティ事業において、ホテル事業に関しては宿泊需要の回復に伴い、既存ホテルの稼働率や客室単価等が改善したことに加え、国内新規稼働ホテルが加わったことで増収増益となりました。一方、円安の影響で予定していた海外不動産の売却案件を翌期以降に後ろ倒しさせる可能性が大きくなりました。この影響による当初予想との差異は売上高△2,324百万円、営業利益△611百万円となる見込みです。

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はございません。

※この資料に記載されている業績等の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社ベルーナ 経営企画室 (TEL 048-771-7753)